

第1学年〇組 社会科学学習指導案

令和7年〇月〇日 〇曜日 第〇時

指導者 〇 〇 〇 〇

1 単 元 世界の諸地域

2 単元の見標

- (1) アジア、ヨーロッパ、アフリカ、北アメリカ、オセアニアの地域的特色を資料から読み取り、大観するとともに、世界各地で顕在化している地域的課題は、それがみられる地域の地域的特色を受けて、現れ方が異なることを理解することができる。
- (2) 世界の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや他地域との結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し表現することができる。
- (3) 世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究しようとする。

3 学習の計画 (27時間完了)

第1次	第1時	単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。
第2次	第2時	アジア州の自然環境と人々の生活の特色について調べる。
	第3時	東アジアの国々の経済発展の特色について調べる。
	第4時 (本時)	東南アジアの国々の経済発展の特色について調べる。
	第5時	南アジアの国々の経済発展の特色について調べる。
	第6時	西アジア・中央アジアの国々の経済発展の特色について調べる。
第3次	第7時～第12時	ヨーロッパ州の国境を越えた統合について調べる。
第4次	第13時～第15時	アフリカ州の自立のための開発と国際協力について調べる。
第5次	第16時～第21時	北アメリカ州の世界に影響を与える産業について調べる。
第6次	第22時～第24時	南アメリカ州の開発と環境保全について調べる。
第7次	第25時～第27時	オセアニア州の多文化が共生する社会について調べる。

4 本時の学習指導

- (1) 目 標
 - 東南アジアの産業の特色について、資料から読み取ることができる。
 - 東南アジアの国々の経済発展の特色について、多面的に考えることができる。
- (2) 準備・資料
 - 生 徒……タブレット端末、ノート
 - 教 師……タブレット端末
- (3) 関 連
 - 1年 社会 世界各地の人々の生活と環境 (世界の結び付きの特色)
- (4) 学習過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
つ か む	<p>1 前時の学習を振り返り、本時の学習課題をつかむ。</p> <p>(1) 東アジアの国々が経済発展できた理由をペアで振り返る。 ・世界への工業製品の輸出が中心だったから。</p> <p>(2) 東南アジアの過去と現在の様子を比べて気付いたことを発表する。 ・車がたくさん走るようになった。 ・高いビルがたくさん建設された。</p> <p>学習課題 東南アジアの国々はなぜ経済発展できたのか説明しよう。</p> <p>学習問題 A：どのような農業・漁業が盛んか？ B：なぜ経済発展しているのか？ C：どのように協力しているのか？</p>	10	<ul style="list-style-type: none"> ○ 輸出品の変化や、東南アジアの国々の結び付きに着目させる。(地域どうしのつながり) ○ 東アジアの国々は工業製品の輸出により経済発展したことを押さえる。 ○ バンコクの過去と現在の画像を準備し、生活の変化に目を向けさせ、東南アジアの発展について問うことから学習課題をつくる。 ○ ペアで相談させた後、本時の学習課題と学習問題を全体で考え、共有する。 ○ 学習問題を板書し、破線部に着目して調べることを確認する。

追 究 す る	2 学習問題について個人で追究する。	20	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P. 54～55 を参考に、学習問題について調べ、ノートにまとめさせる。 資料から読み取れたこともノートに書き込ませる。
	3 学習課題について追究する。 (1) 調べたことをグループで協働する。 <ul style="list-style-type: none"> A に関する内容を協働する。 <ul style="list-style-type: none"> 高い気温を生かして二期作を行っている。 植民地時代にプランテーションが開かれた。 B に関する内容を協働する。 <ul style="list-style-type: none"> 外国企業を受け入れて工業団地を開発している。 安い賃金で労働者を雇える。 都市問題が引き起こった。 C に関する内容を協働する。 <ul style="list-style-type: none"> A S E A N という国際組織で支え合っている。 東南アジアのほとんどが加盟。 	35	<ul style="list-style-type: none"> 各班の様子を観察しながら、以下の視点が不足していれば、着目するように促す。 A…農産物は重要な輸出品である。 B…安い賃金で労働者を雇える。 C…貿易を促す制度づくり 資料 5 に着目させることで、東南アジア各国で工業化が進んだことに気付かせる。 <p>評 資料から東南アジアの主な国の輸出品目の変化を読み取り、工業製品の割合が高まったことを気付いている。 (ノート)</p>
	(2) 本時の学習課題についてグループで協働する。 <ul style="list-style-type: none"> 学習課題の答えになりそうなキーワードを三つ選ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> プランテーション 安い賃金 税金のかからない貿易 (3) グループでの協働の成果を、学級全体で共有し、学習課題に対する考えについて協働する。	45	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習課題を問い直し、東南アジアが経済発展した理由について考えさせる。 選んだキーワードを学級全体で共有させ、本時の学習課題を答えるために必要なものを選ばせる。
	4 本時のまとめをして、振り返る。 (1) 本時の学習課題に対するまとめを記入する。 <ul style="list-style-type: none"> 植民地時代にプランテーションが開かれ農業が盛んになったことや、近年、中国よりも安い賃金で労働者を雇うことができることや、A S E A N によって輸出入にかかる税金を無くすことで貿易を促していることが経済発展した理由である。 (2) まとめを隣同士で説明し合う。 (3) 本時の振り返りを記入する。	50	<ul style="list-style-type: none"> 班での追究を基にして、学習課題に対するまとめに取り組ませる。 <p>評 グループで協働し、「プランテーションの開発・安い賃金を生かした工業化・税金のかからない貿易」の視点をもってまとめている。 (ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな課題や疑問を書き込ませ、次時の取組につなげさせる。
(5) 本時の評価規準			
<ul style="list-style-type: none"> 東南アジア産業の特色について、タイやマレーシア、インドネシアの輸出品目を読み取り、工業製品の割合が高まったことを気付いている。 (ノート) 東南アジアの国々の経済発展の特色について、東南アジア各国の工業化の様子や A S E A N の意義等の複数の視点から捉え、自分の考えをまとめている。 (ノート) 			
5 備 考			
(1) 学級の実態			
<ul style="list-style-type: none"> 活発に活動に取り組んだり、発言したりできる生徒が多い。一方で、他者の意見を取り入れたり、認め合ったりすることを苦手とする様子がうかがえる。 			
(2) 指導の力点			
<ul style="list-style-type: none"> 多様な考え方に触れられる場を意図的に設定し、伝え方や聞き方を意識させることで、他者の意見を認めることができるようにする。 学習課題を問い直すことで、どの活動でも見通しをもって協働をすることができるようにする。 			
6 指導と評価			